

実施計画事業名		文化財保護事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		教育部 教育総務課		課長(主幹)名	藤島峰幸		
総合計画体系	分野	1	教育・文化				
	政策	3	活気あふれる学びの場づくり				
	施策	4	歴史の継承と文化財の保護・保存を推進します				
	関連施策						
現状と課題	本市では、平成5年に教育委員会に学芸員を配置して、文化財や関係資料の収集、保管、展示と調査研究などの専門的な事項を司ってきた。現在、市の文化財として17件を指定しているが、本市がもつ文化遺産の全容は未だ十分に整理されていない。また現在、歴史的資料や文化財に関連する情報の集積やデータ化を進めている。市民に郷土の歴史や地域を学ぶ魅力を伝えていくため、市民講座等を活用して学習の機会を提供している。						
目的	市の文化財を適切に保存・公開し、後世に引き継ぐとともに、多くの人に市の様々な文化遺産と歴史について認識してもらい郷土愛を深めてもらう						
5ヶ年展開の	① 文化財保護審議会を適切、円滑に運営し、文化財の保護などについて審議してもらう。 ② 文化財を適切に保護する。 ③ 専門員による文化財の調査、保護啓発と公開を行う。 ④ 郷土の歴史に関する学習機会を提供する。 ⑤ 歴史を研究する市民グループと連携を図りながら、調査研究等を進めていく。						
成果指標	名称	単位		21年度	22年度	25年度	
	指定文化財のうち適正に保護されているものの割合	%	目標	100.0	100.0	100.0	
説明	市の文化財として指定されているもののうち、破損等がなく適正に保存されているものの件数 / 市の文化財として指定されている全件数 × 100		実績	100.0	100.0		
活動指標	名称	単位		21年度	22年度	25年度	
	文化財調査件数	件	目標	1	1	1	
	説明	市として調査を行った件数		実績	5	2	
	文化財保護審議会の開催回数	回	目標	2	2	2	
	説明	会議の開催回数(年間延べ)		実績	2	2	
	郷土の歴史についての学習機会への参加者数	人	目標	110	120	150	
	説明	市民講座等で郷土の歴史をテーマとした学習への参加者数		実績	128	216	
			目標	-	-	-	
説明			実績				
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	607	518	706		
	国庫支出金	千円	0	0			
	道支出金	千円	0	0			
	起債	千円	0	0			
	その他	千円	0	0			
	一般財源	千円	607	518	706		
	この事業にかかる職員数	人/年	0.85	0.90	0.90		
人件費(B)	千円	5,887	6,112	6,112			
計(A+B)	千円	6,494	6,630	6,818			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 平成20年度の市民講座は、前期・後期とも2講座の開催があったため、延べ参加者数が増加した 平成21年度は、学芸員の交代があったため、引継ぎ等を含め5ヶ所を調査した。						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 市の文化財を適切に保存・公開できるよう、歴史的資料や文化財に関連する情報の集積やデータ化を引き続き進める。また、市民に郷土の歴史や地域を学ぶ魅力を伝えていくため、平成22年度より「稚内学」を活用した市民講座等を活用して学習の機会を提供していく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--